

## 平成31年 職員への知事年頭挨拶

平成31年1月4日10時～  
西回廊講堂

皆さん新年おめでとうございます。年頭にあたりまして、一言ご挨拶申し上げたいと思います。

年末年始、比較的大きな自然災害もなく、比較的穏やかな平成最後の年を迎えられた方も多いかと思います。危機管理、緊急対応で、当番に当たられた職員の皆さん、本当にお疲れさまでした。そのほかの方々は、今日から、また気持ちを切り替えて、しっかり仕事に取り組んでいただきたいと思います。

就任以来、「住んでよし、訪れてよし」の新潟県を目指していきたくて申し上げます。住んでよしという、簡単な一言でありますけれども、どういう状態を作っていたら、住んでいることが満足できる、誇りに思えるのか。何をすればそういう状態になるのか。同様に、訪れてよしという短い言葉ですが、どういうことが新潟の魅力になるのか。その魅力を感じて多くの人に来ていただくためには何をすればいいのか、どうしたら満足感をもって帰っていただけるのか。そういった、「住んでよし、訪れてよし」の新潟を目指すという具体的な肉付けを、ぜひともこれから皆さん一緒に考えていただきたいと思っています。

そういう意識のもと、来年度の予算編成、その作業にすでに皆さん着手していただいていますけれども、私自身はもちろんこれに限らないのですが、4つほど関心を持っていることがあります。

一つ目は、繰り返しいろんなところで申し上げていますが、治安維持ということも含めて、防災減災対策をもう一段加速させたい。まさに治安の維持を含めて、安全と安心、県民生活の安全と安心を、実現していく、確保していく。そのための政策なり、予算の事業を考えていきたいということ。

二つ目は、これもいろんな場所で申し上げていますが、県民の健康寿命をいかに伸ばすかということ。人生を最後まで、できるだけ自分らしい生活を維持できる、健康であるということは、もちろん個人の幸せ（である）と同時に、持続可

能な社会保障制度を維持していくためには必要なことであり、さらに言えば、意欲があって健康状態が許すのならば、できるだけ多くの県民に社会に参加していただきたい。働くということも含め、あるいは地域活動に参加するということも含め、社会参加をいかに確保していくか、そのことが、活力ある新潟につながると思っております。

三つ目、これも繰り返しいろんなところで申し上げていますが、なりわいを起こす、事業をする人、あるいは新しい事業領域に挑戦する企業、(例えば) 新技術、新分野への挑戦、新商品の開発。そういった一步を踏み出す、新しいことをしようとする、こういう人たちを市町村も含めて、行政あるいは経済界、金融、大学等の教育機関、これらが一体となって連携して後押しをする、支える、そういう環境づくりをしていきたい。次々と新しいことに挑戦する方々が生まれるような環境づくり、これが三つ目です。

最後四つ目は、なんといっても交流人口を増やす。多くの人にこの新潟に来ていただくための、呼び込むための仕組み、環境づくりを考えていきたいと思っております。

こういった四つのことに、皆さんの抱えている課題は限られません。目の前の皆さんが抱えている課題にしっかり取り組んでいただきたいと願っています。仕事に取り組む姿勢は、「発想は大胆かつ柔軟に、そして実行は緻密に、そして、失敗を恐れずに、やるときはやる。」と。こういう心構えで仕事に取り組んでいただきたいと思えますし、その時忘れてはならないのが、消費者目線といえますか、県民目線といえますか、県民を第一に、消費者を第一に考える行政であっていただきたい、そのように思っております。

結びになりますけれども、改めてこの一年が皆さんにとっての、本当に充実した成果の多い一年となりますことを祈念いたしまして、簡単ですけれども年頭のご挨拶といたします。以上です。